

「キャリアアップ」の

「バカヤロー」

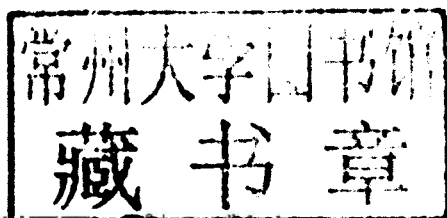
自己啓発と転職の
“罠”にはまらないために

人材コンサルタント
常見陽平



講談社+α新書
プラスアルファ

市兄陽千



「キャリアアップ」のバカヤロー

自己啓発と転職の“罠”にはまらないために

講談社+新書
プラスアルファ

常見陽平

人材コンサルタント、大学講師、著述業。

北海道札幌市に生まれる。一橋大学卒業後、氷河期時代の就活の
のち、(株)リクルート入社。『とらばーゆ』編集部、トヨタ自動車と
の合併会社などを経て、玩具メーカーに転職し新卒採用担当に。
2009年、(株)クオリティ・オブ・ライフ入社。実践女子大学、白百
合女子大学、武蔵野美術大学で非常勤講師を兼務。夢は「面白い
社会人を増やすこと」。就活分野においてはオビニオンリーダー
としてメディアでも活躍。

著書には『就活のバカヤロー』(石渡嶺司氏との共著、光文社新
書)、『くたばれ! 就職氷河期』(角川SSC新書)、『最強「内定」請負
人 就活の答え』(柳本新二氏との共著、講談社)などがある。

講談社+α新書 559-1 B



「キャリアアップ」のバカヤロー

自己啓発と転職の“罠”にはまらないために

つねみ ようへい
常見陽平 ©Yohei Tsunemi 2011

2011年4月20日第1刷発行

2011年6月17日第2刷発行

発行者——— 鈴木 哲

発行所——— 株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3532

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

装画——— 中村純司

写真——— 齋藤義晃

デザイン——— 鈴木成一デザイン室

カバー印刷——— 共同印刷株式会社

印刷——— 慶昌堂印刷株式会社

製本——— 牧製本印刷株式会社

本文データ制作——— 講談社プリプレス管理部

定価はカバーに表示してあります。

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。

送料は小社負担にてお取り替えします。

なお、この本の内容についてのお問い合わせは生活文化第三出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられていま
す。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内
の利用でも著作権法違反です。

Printed in Japan

ISBN978-4-06-272711-2

●目次

はじめに — 「キャリアアップ」という曖昧な不安 3

第1章 なぜ、「キャリアアップ」に脅迫されるのか？

一に雇用不安、二に雇用不安 14

日本企業の閉塞感 16

EXILEなみの厳選選抜 21

企業が新卒の質の低下を訴える 28

優秀な学生は入社後も優秀か 30

外国人留学生採用は成功するか 34

過去最高のサービス残業の裏で 37

メンヘル問題が止まらない 39

指導できない上司が生まれている 42

「ゆとり上司」にメスを入れろ 46

「プチ搾取されリーマン」候補 48

高学歴で「使えない人」の言い分 53

「超・おばちゃん」のスキル 56

第2章 転職のバカヤロ―

あなたは転職するべきなのか 60

ベンチャーの「名ばかり役職」 63

「転職成功者」の仕事ぶり 65

転職で年収は上がるの？ 67

自分を高く売るといふ発想を持て 70

「やりたいこと」はできるの？ 72

未経験でも幸せな転職の可能性が 75

私が仕事漂流の末につかんだもの 77

天職とはなにか？ 79

年齢、転職回数はどう見られるか 81

人材紹介会社の功罪 84

「体感年収」というコンセプト 88

転職も情報戦である 90

カリスマの口説きに騙されるな 94

第3章 私の「キャリアアップ」漂流記

23歳 「リクルートを辞める！」 98

26歳 「いやな予感」も判断基準 102

26歳 念願だったベンチャー企業 108

31歳 失敗だらけの転職 111

第4章 自分磨きのバカヤロー

努力が報われない人たち 122

「自分探し」と「自己実現」 123

「自分磨き」が命だった日々 125

憧れの人には裏がある 128

スゴイ起業家の見抜き方 133

起業したいなら夢に期日を入れる 136

ビジネス書の著者に騙されるな 138

「元リクルート」は優秀か 142

リクルートの採用戦略と人材育成 143

社員がリクルートを辞める理由 147

「リクルートってどうよ」 149

資格欄ビッシリ、でも仕事は…… 152

面接で「資格」が地雷になる 155

語学力だけでは勝負にならない 157

デキる人デキない人の読書法 159

自己啓発書で人は変われるか 161

毒になるビジネス書・自己啓発書 163

仕事術マニアは仕事がイマイチ 169

トヨタルールはA3用紙1枚 172

異業種交流会や勉強会はいらない 174

痛々しいセルフブランディング 178

目立つ名刺よりふだんのルール 181

バカが可視化されるネット術 182

まず、仕事をしろ！ 184

第5章 20代るとき私が知りたかった12のルール

- 1 多様な視点と広い視野を持つ 188
- 2 成長が自分も周りも変える 190
- 3 「名刺がわりの仕事」をする 192
- 4 仕事が磨かれる原則を知る 197
- 5 仕事は「量」のち「大きさ」 199
- 6 「オカズの仕事」をする 202
- 7 「謙虚」でいこう 203
- 8 大切な人を、大切にしよう 204
- 9 自分を安売りしない 205
- 10 次の時代の空気を読み 206
- 11 無駄な経験はひとつもない 209
- 12 主張する勇気を持とう 212

おわりに 216

市兄陽十

「キャリアアップ」のバカヤロー

自己啓発と転職の“罠”にはまらないために

講談社+新書
プラスアルファ

はじめに — 「キャリアアップ」という曖昧な不安

みなさんにお聞きしたい。

「キャリアアップ」という言葉で、焦ってはいないだろうか？ この言葉に、脅迫されていないだろうか？ これにとり組む自分に酔っていないか？

私にもそんな経験は、ある。そして言いたい。早く、「キャリアアップ」という幻想、妄想、曖昧な不安から脱却しろ、と。

「転職でキャリアアップ」「キャリアアップのために、自分磨き」

世の中にはこんな言葉が溢れている。

「友人の〇〇が転職で『キャリアアップ』に成功した」なんていう話を聞いたりする。「キャリアアップ」という言葉で踊らされ、悩む。「キャリアアップ」というのは、転職や、自分磨きとニアリーイコールのように思えてくる。

まず、この「キャリアアップ」という言葉を疑ってほしい。リクルート ワークス研究所 所長、大久保幸夫氏（おおくぼ ゆきお）が『日本型キャリアデザインの方法「筏下り」を経て「山登り」に至る14章』（日本経団連出版）で触れたように、そもそもキャリアとは自分が歩んできた軌跡（わだち）であり、アップもダウンもないのである。キャリア用語で「キャリアアップ」という言葉はそもそもおかしいのだ。

「キャリアアップ」は、俗に次のような意味で使われているように思う。「今までよりも、もっと年収が高い仕事に就くことができた」「役職が上がった」「責任のある仕事をまかされた」「勤務先の企業規模が大きくなった」などである。

友人が「キャリアアップ」に成功した（ように見える）様子を見て、焦る。自分も「キャリアアップ」をしなければいけないという危機感、焦燥感を抱く。人によつては、これで硬直してしまう。

「キャリアアップ」につながると信じて、人々はビジネス書を読み、資格取得に励み、異業種交流会に通う。しかし、変われなくて焦る。能力を上げる「スキルアップ」も「キャリアアップ」と混同されている。「スキルアップ」さえすれば「キャリアアップ」できると誤解している人さえいる。気づけば、アップアップしている。

目を覚ましていただきたい。隣の芝生はつねに青く見えるものである。「あいつに比べ

て、自分は頑張っていない……」「もつと年収を上げなくちゃ」「この仕事で身につくスキルは市場価値があるのだろうか？」というような感情がわき起こる……。『キャリアアップ』のための自分磨きだつてそうだ。趣味としては悪くないが、どうやって仕事に活かすのかという視点がなければまったく意味がないのである。

人生は長い。成功したかどうか、「キャリアアップ」したかどうかの評価は、短期・中期・長期で考えなければならぬ。つまり、今、面白くないと思つてとり組んでいる経験が、将来活きることだつてあるし、楽しくて仕方ないと思つている時期が、実は単なる生ぬるいモラトリアム期間だつたことに気づくことだつてある。

たとえば、私にしても、就職氷河期時代に理不尽な就活を体験したこと、不本意な配属で法人営業を経験し暗黒の新人時代を送つたこと、次の転職情報誌編集部があまりに大組織だつたのに戸惑い悶々としたこと、希望ではない異動でトヨタとリクルートの合併会社に向向したことなど、逆境、理不尽なこと、不本意な経験が、現在の人材コンサルタントの仕事に役立っていたりする。例えば、学生の頃、コンサルタントや論客になりたいとは思つていたが、まさか「人材」分野でそうなるとは思つていなかった。

まずは「キャリアアップ」という幻想を捨てることから始めよう。キャリアにはアップもダウンもない。無駄な経験なんてひとつもないのだ。

私はこれまで、就活や新卒採用に関する本を書いてきた。本作は苦しい就活のその先で、やっと内定が出た後、長く続く働く人生について考える本である。20代〜30代前半の社会人で、特に自分の働き方について悩んでいる方、「キャリアアップ」について考えている真面目な方に読んでいただきたい。これらの年代の部下がいる上司のみなさんにもきつとご参考になるだろう。学生さんにとつては、社会に出てからの「働く」イメージをより膨らませるために、この本には私自身の「キャリアアップ」漂流の実体験が役に立つことだろう。先輩として、そして人事担当者として若者と接してきた経験を綴っている。さらには上の世代に對する怒りと感謝によつてできている。

第1章では、なぜみんなが「キャリアアップ」を焦るのか、職場や時代の変化などについて考察している。第2章では、転職の裏常識と、絶対やつてはいけないことをまとめた。第3章はこれまで語ったことのなかった私の転職漂流記をお届けする。第4章では、自己啓発などの「自分磨き」について、意味がない痛いパターンを分析している。そして、第5章では「キャリアアップ」漂流から学んだ私が20代のうちに知っておきたかったことを紹介している。

なお、前述したとおり「キャリアアップ」というのは本来、間違つた用法なので、この本ではカッコつきで紹介することにする。

具体的な夢と希望を持ち、環境の変化に適応しつつ、目の前のことをマジでやる。謙虚であること。反省するときはしつかり反省し、だがいつまでも悩まない。これが「キャリアアップ」漂流を経て私が至った結論であり、本書で最も言いたいことである。

この本の裏テーマは「愛と怒りのキャリア論」である。もう、かつこつけることも、焦ることもやめようではないか。テン年代型（2010年代型）の愚直な働き方を提案するつもりだ。

この本を書き終える頃、東日本を大地震と、それにとまなう津波が襲った。さらに、原子力発電所の事故も発生した。究極的事態により日本は壊滅的なダメージを受けている。「復興」に必要なものは何か？ それは「負けない日本人」の魂である。日本人は世界最強の魂と、ジェネラリストのスーパーチームワークでこの困難を克服すると信じている。日本はきつと「復興」する。

本書には楽して成功する法則など書いていない。むしろ、冷たい現実である。しかし、冷たい現実が人を熱くすることだつてあるし、絶望から始まる希望だつてあるわけだ。だいたい、楽して成功する法則があつたら誰だつてやっているし、差がつかない。大震災で日本人は生き方を模索している。今、必要なのは地に足のついた愚直な生き方なのである。これは、私流の憂国の書であり、救民の書である。

●目次

はじめに — 「キャリアアップ」という曖昧な不安 3

第1章 なぜ、「キャリアアップ」に脅迫されるのか？

一に雇用不安、二に雇用不安 14

日本企業の閉塞感 16

EXILEなみの厳選選抜 21

企業が新卒の質の低下を訴える 28

優秀な学生は入社後も優秀か 30

外国人留学生採用は成功するか 34

過去最高のサービス残業の裏で 37

メンヘル問題が止まらない 39

指導できない上司が生まれている 42

「ゆとり上司」にメスを入れろ 46

「プチ搾取されリーマン」候補 48

高学歴で「使えない人」の言い分 53

「超・おばちゃん」のスキル 56

第2章 転職のバカヤロ―

あなたは転職するべきなのか 60

ベンチャーの「名ばかり役職」 63

「転職成功者」の仕事ぶり 65

転職で年収は上がるの？ 67

自分を高く売るといふ発想を持て 70

「やりたいこと」はできるの？ 72

未経験でも幸せな転職の可能性が 75

私が仕事漂流の末につかんだもの 77

天職とはなにか？ 79

年齢、転職回数はどう見られるか 81

人材紹介会社の功罪 84

「体感年収」というコンセプト 88

転職も情報戦である 90

カリスマの口説きに騙されるな 94

第3章 私の「キャリアアップ」漂流記

23歳 「リクルートを辞める！」 98

26歳 「いやな予感」も判断基準 102

26歳 念願だったベンチャー企業 108

31歳 失敗だらけの転職 111

第4章 自分磨きのバカヤロー

努力が報われない人たち 122

「自分探し」と「自己実現」 123

「自分磨き」が命だった日々 125

憧れの人には裏がある 128

スゴイ起業家の見抜き方 133

起業したいなら夢に期日を入れる 136

ビジネス書の著者に騙されるな 138

「元リクルート」は優秀か 142

リクルートの採用戦略と人材育成 143

社員がリクルートを辞める理由 147

「リクルートってどうよ」 149

資格欄ビッシリ、でも仕事は…… 152

面接で「資格」が地雷になる 155

語学力だけでは勝負にならない 157

デキる人デキない人の読書法 159

自己啓発書で人は変われるか 161

毒になるビジネス書・自己啓発書 163

仕事術マニアは仕事がいマイチ 169

トヨタルールはA3用紙1枚 172

異業種交流会や勉強会はいらない 174

痛々しいセルフブランディング 178

目立つ名刺よりふだんのルール 181